示相化石と示準化石

化石から、地層ができた当時の環境や時代が分かるか

示相化石：地層ができた当時の環境が分かる



サンゴ

→ あたたかくて浅い海



シジミ

→ 湖や河口（海水と川の水がまざる所）



ブナの葉

→ やや寒い気候の陸地

限られた環境でしか生きられない生物の化石が、
示相化石になる。

示準化石：地層ができた時代が分かる

古い

古生代

約5億4000万～2億5000万年前

サンヨウチュウ・フズリナ

中生代

約2億5000万～6600万年前

アンモナイト・恐竜

新生代

約6600万年前～現在

ビカリア・ナウマンゾウ

新しい

広い範囲に、短い期間だけ栄えた生物の化石が、
示準化石になる。同じ示準化石をふくむ地層は、
同じころにできたと考えられる。

化石は模式的な記号。年代はおよその値。古生代・中生代・新生代の区分を地質年代という。